



「じゃがいものうち」通信 NO. 51 2007.2.13

～障害者と共に歩む仲間たち～

NPO法人「じゃがいものうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久町尾之間136-6

Tel. Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

URL: <http://www.minc.ne.jp/~npo-jaga> 代表 松田 正

障害者ってなんだろう？

そんな質問を受けたらあなたはどのように答えますか？

模範的な答えを先に書いてしまいます。現在、国内外で広く承認されている定義・見方を紹介します。それはノーマライゼーションの理念を踏まえた障害者観で「障害者は、その社会の他の異なったニーズを持つ特別の集団と考えられるべきではなく、その普通の人間的なニーズを満たすのに特別の困難を持つ普通の市民と考えられるべきなのである」ということです。

そのままではちょっとわかりにくいのですが、“障害者”という人たちがいるのではなくて、例えば買い物に行きたいけど足が不自由でいけない人は、そのことは不便だけど普通の人という捉え方です。車いすを使って自由にどこでも移動できれば、特別な困難はなくなるわけで障害者ではなくなってしまうということです。

ということは、その人のおかれた環境で変わってくると言うことです。膝が痛くてしゃがめない人にとっては、和式のしゃがむタイプのトイレしかない家庭では“障害者”かも知れないけど、座って用の足せる洋式に変えられれば“障害者”ではなくなるということです。“障害者”と“健常者”の境なんてそんなことのようにです。

障害者観も時代と共に大きく変遷してきました。日本では、様々な福祉制度を利用するために障害者手帳が発行されていますが、1949年に成立した当時の身体障害者福祉法では、職業的な更正を目的にしていたために、その可能性の乏しい重度障害者は対象から除外されていました。以後範囲が広められて、今は「ヒト免疫不全ウイルス（エイズウイルス）による免疫機能障害」も対象に含まれています。しかし拡充されてきた福祉制度も、申請しないとサービスが受けられない制度であるために、その恩恵に浴してない人も多くいます。

制度を知らないと、困った事態になっても何も解決しない。そんな時、気軽に相談の出来る場所が必要になります。「じゃがいものうち」の目的でもある“どんな障害を持っていても・・・安心して暮らしていける”ためには、困った状態になったときや、困っている人を知ったときに、サポートしたり、関係機関につなげられるだけの力量をつける必要を感じています。（松田）



理事会からの報告

2月6日理事会を行いました。主な議題は“小規模多機能”（準備室はメンバーの時間がとれず2月末でないといと会が持てません。）1月25日に借家候補の建物を下見した結果、場所・間取りは良いのですが、風呂がなくトイレも改造が必要と言うことで見送ることにしました。開始目標の時期についても、介護計画は3年ごとに立てられる制度なので、その途中の年の開始には無理があり、第4期の始まる2009年度（H21）にした方が良いのではないか。それまでの間は自主事業として、日中のみ、デイサービスの形で行い、利用者の要望やスタッフの様子を見ながら、形を整えていこうと話合いました。（松田）

「おおぼらかい」



おおぼらかいに参加して

賛助会員 山口康文(自己満足年齢120)

今年の三月、末の子(三男)が大学を卒業することにより子育てから解放され、時間が作れそうなので多く人のおおぼらを聞いてみようかなと軽い気持ちで参加しただけのことです。(現実的で大変良いです)私的には会名に似合う内容が時々あったら良いなと思いましたが、これからも第4、第5の人生の受口の一つとして利用したいと思しますので、この会が長く続くことを望みます。

●2月15日(木) 13時30分 「じゃがいものうち」にてビデオ鑑賞、他 ■参加費100円

屋久島の療育

子育て中のお母さんお父さん、我が子の成長の発達や子育てで悩んでいませんか?

「三つ子の魂百まで」という言葉通り、子どもたちは0~1才くらいまでの間にいろんな基礎、基本的な力が芽生え始め、2才くらいまでに大体そろいます。力がそろい、関係が結ばれてゆく結果として言葉がうまれてきます。人として関わるのが楽しい、遊ぶのが楽しい、遊びや生活の中でいろんな発見をしていく。「アッアッ」と指さして教えてくれたり、楽しさや嬉しさを手を叩いたり飛び上がったりと様々な形で表現してくれます。そうしながら、「仲間と一緒にだともっと楽しいね!」と仲間の関係を広げてゆきます。その時必要なのが幼稚園や保育園という子ども集団!しかし、人と関わることの弱さを持ったり、ハンディを持っている子どもたちには、小集団で丁寧に関わってゆくことが必要です。その場がつまり「療育」なのです。

- ☆子どもが分かる生活の場
- ☆互いに育ち合える仲間集団
- ☆手ごたえのある遊びの中味
- ☆両親援助

この4つの柱がいっぺんに関係し保障されてゆくのが療育です

★2004年度より開設されました児童デイサービス「縄文」さんよりお声を頂きました。

児童デイサービス「じょうもん」に通っている子の母親です。「じょうもん」は、療育をしていただけて楽しく遊ぶところです、通いはじめてから2年が過ぎました。初めて行く時は、私自身が笑うこともなく不安な顔をしていたと思います。この子は発達に遅れがあります。でもゆっくりなのですが確実に成長しています。とても元気なのです。現在「じょうもん」へ週5回毎日通うようになりこの子なりにだいぶ成長したと思っています。はじめのころは、いっしょに手もつないで歩けなかったのですが、今では、自分から母の手をつなぐようになりました。トランポリンもじょうずにとべるようになったり、先生と楽しそうにおいかけて、ダンス、手あそび、いろいろなあそびをしたり、本やかみしばいのお話が、いすに座って聞くこと見ることが出来るようにもなりました。色々出来ない事だらけだったのに今ではビックリするくらい出来るようになりました。でも子も母もまだいろんな事に挑戦したり、頑張らないといけない事だらけです。

これからは悩んだり泣いたり、また『これも出来るようになった!』と笑ってうれしくなり、もっと頑張ろうと思ったり毎日だと思います。それに頑張っている人たちは他にもいるんだと思い、まだまだ頑張ろうと思ったりもしました。本当に「じょうもん」があって良かった・・・。それに「じょうもん」の先生は明るくてやさしいです。ときにはいっしょに悩んでも

らったり、心配してもらったり、この子に合ったやり方、方法などたくさんの事を考えて実践して頂いて感謝しています。この子にもたくさんの事に頑張ってもらって本当にありがとう。感謝です。これからもこの子のペースに合わせてゆっくりとあせらずに頑張っていきたいと思えます。(親の会 母より)

●児童デイサービス縄文をご存知ですか?

最近、原の県道沿いに立派な?!看板が立っただけですが・・・

平成16年1月より始まった縄文は現在登録児童10名。スタッフ3名で月曜から土曜の主に午前中に療育を行っています。療育に関わっていて一番嬉しいと感じる事はやっぱりこの3年で子供達が大きく成長した事です。お父さん、お母さん、子供の笑顔の瞬間をほんの少しお手伝いしているんだなと感じられる時が嬉しいです。同時に療育の難しさに苦悩することしばしば・・・家庭・デイ・園(幼、保育、学校)・行政との連携を密にしなければなかなか超えられないと思うこともあります。

今年度は神山小の2年生のお友達と交流ができました。2年生が訪問してくれたり、秋祭り・芋ほりに招待してもらったり、こういう交流を来年度も続けられたらいいなと、考えています。

皆さんも是非遊びに来て下さいね。

(児童デイサービス縄文 スタッフ)

手をつなぐ育成会コーナー

障害者自立支援法が施行され知的障害、身体障害、精神障害、という障害種別の壁がなくなり三障害が一つの枠に収まる様になりました。島にいながら就労の場を求め続けている育成会としても、利用者の確保でいつもつまずいていましたがようやく通所の授産施設が出来そうになり、会としてとても喜んでいました。

設置主体	社会福祉法人「愛心会」	
施設設置場所	上屋久町宮之浦 徳洲会病院横	
施設サービス体系	障害者就労継続支援施設（B型）	定員20名
施設概要	建設面積 135坪	
作業種	軽食喫茶の店およびパン製造、農作業、木工作業、清掃作業	

★今後の予定★

すでに県へ要望書は提出済みで、県は検討し国へ推薦をするとのこと。国は平成19年5月～6月に内示を出します。この内示がおりますといよいよスタートとなります。開設は平成20年4月1日を予定しています。育成会としても設立が確実になるものとして、県庁へ念押しに行く計画をしています。

まずは島に出来ること。次は島の立地を考えて屋久町の方にも通える場を求めたいと強く要望したい。そして働く場が出来たら家となるグループホームが自立を考えると必要なのです。（楯）

行事報告

■しゃくなげ未来館によるクリスマス会

12月21日（木）に、しゃくなげ未来館のクリスマス会に参加しました。僕と信裕さんと楯さんで、お笑いのネタを発表しました。こんな大勢の人がいるところで、お笑いをしたのは初めてです。いろんなネタの出し方で、みんなを楽しませてあげました。やっぱり練習したおかげです。その後の、利枝子さんの自己紹介も、すごくよかったです。お料理は、ボランティアの方々が作ってくれました。おにぎりや、サラダや、唐揚げなどいろいろあって、すごく美味しかったです。おしゃべりや、カラオケも、けっこうもりあがりました。

（鹿島 浩二）



■餅つき大会 12月28日（木）

「しろいもの」ぬまた そらみ
このあいだね、おかあさんともちつきにいったの。おかさん、いつだったっけ？（12月28日よ。）だって。たくさんひとがいたよ。やさしいおばさんたちに、いっぱいだっこしてもらったの。えっと...（手をつなぐ育成会の人たちよ。）だって。みんな、たくさんしろい...（あれはお餅よ。）のをたべてたよ。あたしは、あんこと、きなこ、ぼたんと、なっとう。おつゆのみも、たくさんたべたよ。あんなにたくさんのおにくをみたのはじめて。あとね、たくさんのおこものおにいちゃんとおねえちゃんがいてね、あそんだの。はいはいだけどね。おおきいひと（大人）ちいさいひと（子ども）にこにこ、にこにこしてたよ。おおきいひとは、しろいものをたたいてにこにこ。ちいさいひとは、あそんでにこにこ。あたしをみてにこにこ、なでなで。しろいものも、なでなでしてたよ。あのたくさんのおしろいもの、どこにいったのかな？おかあさん。じゃあね。ばいばい。くくくく。まんま。あっほっまっ。ほっほっ。んがぐっ。



■新春茶話会 1月4日（木）

それぞれが持ち寄ったおいしいお料理を味わいながら、それぞれの夢について語り合いました。

行事予定

またまたやってきましたタンカンジュース作り。昨年は延べ10日間の重労働、ありがとうございました。今年も同じくらいの予定をしています。また、じゃがいも、ウコン、ガジュツ掘りと作業が続きます。屋久島の障害者福祉充実の為に協力頂いた皆様の善意を生かして行きたいと思っていますのでよろしく御願ひ致します。以下日程です

●タンカンジュース作り

1回目 2月21日(水)～23日(金)
2回目 3月9日(金)～11日(日)
3回目 3月18日(日)～19日(月)
時間 AM9時～PM4時
持ち物 お弁当持参。(清潔な服装)。
長靴、作業着は準備します。

※2回目、3回目の日程は今のところ予定ですが、原材料の都合で変更されますので御問い合わせ下さい。

●じゃがいも掘り

日時 2月25日(日) AM9時～PM4時
場所 尾之間、新里自動車下の畑
持ち物 お弁当 軍手 バケツ 畑仕事の服装
※雨天延期、後日連絡(天候待ち)

●ウコン、ガジュツ掘り

日時 3月25日(日) AM9時～PM4時
場所 尾之間、新里自動車下の畑
持ち物 お弁当 軍手 バケツ 畑仕事の服装
※雨天延期、後日連絡(天候待ち)

掲示板

★布地をお譲りします 3月5日(月) 午後1時より「じゃがいものおうち」にて

余分にある手許の布地をお入用な方に差し上げます。ありふれた木綿とジョーゼットです。お一人W布2メートル位ずつを15人の方の分あると思います。気に入られましたら寸志(100円位でも)を「じゃがいものおうち」に寄付していただければ幸いです。(遊びがてらおいで下さいね) (大原貞子)

★録音ボランティア募集

僕は身体に重い障害を持っていて、自分で本を読むことが出来ません、だれかテープかCDで録音してくれませんか、今読みたい本は『ファール昆虫記』です。屋久町図書館にあります、自分の図書カードを使って下さい。CDやテープはこちらで準備致します。よろしく御願ひ致します。 尾之間 楯水生輪

連絡先 「じゃがいものおうち」47-3588 楯水生輪 090-5948-3408

★譲ってコーナー

ざるに和紙を貼りその上にニスを塗るとステキな器が出来ます。それを知的障害をもつ方達と作りたいと思っています、そこでご家庭にあるもう使わないざるとか、もう汚れて使いたくないと思われるざるや、食品のトレイなどありましたら譲って下さい。 「じゃがいものおうち」まで47-3588

それからもう使わないトラクターがあつたら嬉しいです。

(楯)

★「じゃがいものおうち」に食器が多数あります。必要とされる方は、お声をおかけください。

感謝録 (10月19日～2月8日 順不同)

石川美那子 日高知子 日高典子 日高弘子 畑下和子 柴堯子 泉や倶楽部 柴田修身 鈴木裕子
羽生緑 高見澤義男 福嶋礼子 太田久美 古屋浩三 日高ミツ子 藤山倉作 松本活栄 岡村和子
りんごの木 羽田順子 峰平耕典 岸トモ子 桑山道子 日高幸子 田中和彦 孝春子 藤山順子
鹿島浩二 ありがとうございました。

編集後記

屋久町尾之間は今「ひかん桜」が満開です、圧倒的な花数にいつもの風景が一変しています。温暖化の影響か、ちょっと早い咲頃ですが春到来を告げ、また新しい年が始まり動き始めているんだと構えを整える気持ちになりました。

「通信51号」行事予定の連絡が多くなりました。皆様のご意見を大切に、今年も通信部一同頑張りたいと思っています。

今年もよろしく御願ひ致します。

(楯)

日高利枝子さん作 →

